

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

## 「主体的・対話的で深い学び」を通して



### 教師の授業力向上の研修

11月29日(木)5限3年2組社会科 酒井 孝康 教諭

講師：山内貴弘(岡崎市現職研修委員会 社会科部長:福岡中学校長)

森田淳一(岡崎市社会科指導員:翔南中学校)



先生、友達の話真剣に聞く生徒



自分の考えを真剣に書く生徒



机間指導で生徒の考えを把握する教師



授業後に、社会科指導員の森田淳一先生、社会科部長の山内貴弘校長先生を講師に迎えての研究協議会

11月29日(木)の5限、3年2組で、S先生が、社会科「額田学区の公共交通のあり方を考えよう」を学習課題として授業を公開しました。平成30年度初めての研究全体会で、全職員が社会科の授業を参観し、授業後に3年2組の教室で研究協議会を行いました。社会科としての目標を達成できたかを、生徒の振り返りをもとに授業分析をしました。3年2組の黒板に残してある板書をもとに、生徒の発言内容、授業展開、教師の発問などについて、額田中教職員が積極的に自分の考えを発言し、「主体的・対話的で深い学び」の授業にするにはどうしたらよいかを協議しました。

#### 社会科指導員の森田淳一先生から、次のご指導をいただきました。

- ・生徒が自分の調べたことを意欲的に発言していたのが素晴らしい。ただ、発表しただけでなく、友達や先生の考えに耳を傾けて発言している点に価値がある。酒井先生の生徒に社会科的な見方を育てようとする意気込みが伝わってきました。
- ・社会科の「深い学び」とは、「対話的な学習活動を取り入れ、1つの資料を多面的、多角的に捉え、生徒が価値判断をする学習」です。そのために、教師が板書を使って、「これについてどう思う」、「じゃ、どうすればよいか」という「教師の出」が重要です。
- ・生徒の発言の途中で、立ち止まって、多面的、多角的に考える場づくりが大切です。

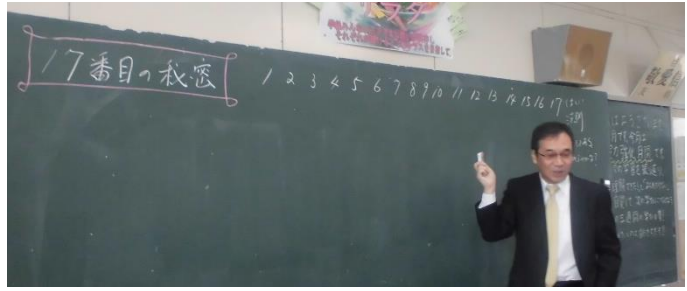
#### 最後に、社会科部長の山内貴弘校長先生が次のことを話されました。

- ・生徒が本気で授業に立ち向かっている姿に感動しました。生徒を育てた酒井先生、多くの先生の努力に敬意を表します。生徒の目がキラキラと輝き、他人事でなく、自分事として「額田学区の公共交通のあり方」について話し合っていました。生徒の本気の学びが素晴らしい。
- ・研究協議会で先生方の発言が素晴らしい。全職員で「深い学び」のある授業をつくっていかうとする願いが感じられます。額田中の教職員の熱意で、生徒が着実に育っていると思います。

# 教師の授業力向上の研修

12月3日(月)4限

## 玉置 崇 教授(岐阜聖徳学園大学)の示範授業 数学科1年3組

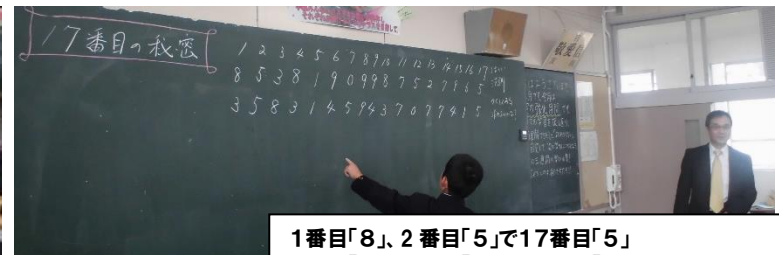


### 玉置先生が1年3組の生徒との出会いで話されたこと

- ・表情発言。わかった時の顔、わからない時の顔、顔で自己表示してください。
- ・ふざけた発言はいけません。真剣に考えたなら間違えてもよい。
- ・授業はみんなでつくるもの。ひらめいたら、どんどん発言してください。

### 生徒の学習意欲を高める導入

- 「17番目の秘密」から連想することは？
- ・法則があるのか
  - ・何かがかくされている



1番目の数をどうする。生徒に「8」と言わせる。2番目は先生が決めていいですか。2番目を「5」とする。順番に全員に指名し、表の作り方を理解させる。前の数字をたして、 $8+5\Rightarrow 3$ とする計算の仕方は？

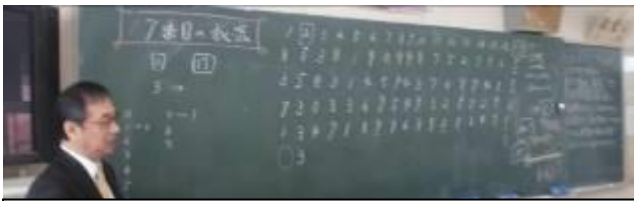
- ・「10」をなくす
- ・「10」をひく
- ・1けたの数だけ書く

1番目「8」、2番目「5」で17番目「5」

1番目「3」、2番目「5」で17番目「5」

この表で、どんなことに気づいたか。

- ・上下で同じ数になるのは3つおきになっている。
- ・17番目はいつも「5」になる。



2番目を「3」にしたなら、17番目はどうなるか。1番目の数を変えて、どうなるかを考えさせた。2番目が「3」の時、17番目は「1」になる。



2番目の数を変えると、17番目がどうなるか。クラスのみんなで分担して調べた。



2番目の数と17番目の数の関係を見つける学習として、4人グループで真剣に考えさせた。



4人グループで「17番目の秘密」について2番目と17番目の数を足したり、引いたり、かけたり、わったりして、法則性を見つけようとした。どのグループも秘密を見つけようと本気で学習に取り組んでいた。「あ、できた」と興奮した声が聞こえ、玉置先生がすぐにその生徒の考えを確認された。そのアイデアは正しかった。そのグループ全体も笑顔いっぱいだった。クラス全体にそのアイデアを説明させた。

12月3日(月)、4限、1年3組で、岐阜聖徳大学教授の玉置崇先生による示範授業が行われました。額田中学校教職員すべてが、「主体的・対話的で深い学び」の授業をつくりあげるための「教師の出」についての研修をしました。玉置先生は、初めて会った1年3組の生徒とのコミュニケーションを図りながら、生徒を数学の舞台に引き込んでいきました。「17番目の秘密」を発見しようと、生徒は真剣に考えていました。玉置ゼミの大学生3名が、授業記録をとりながら、授業分析の資料を作成していました。玉置先生の師範授業から、「主体的・対話的で深い学び」のポイントを学びました。

この日の午後、形埜小学校に出かけ、6年生6名の算数の研究授業を参観しました。額田中学校数学科4名と形埜小学校全教職員による研究協議会で、玉置先生から小中連携につながる算数数学科の指導のあり方を教えていただきました。

額田中と形埜小合同の充実した研修会になりました。



12月3日の午後、形埜小学校で研究協議会



授業分析をした玉置ゼミの3名